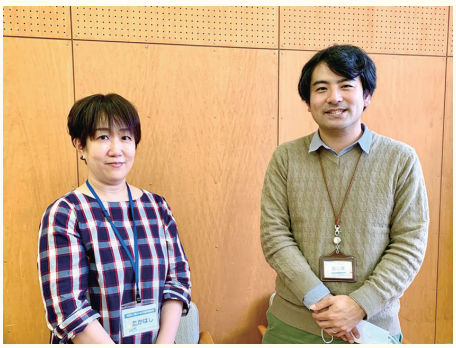
# NewsLetter vol.08

2021.12

“違いの先にある「同じ」を知る”

# 「児童相談所」のこと、知っていますか？

**神奈川県中央児童相談所（藤沢市亀井野）　髙橋かすみさん　安島大輝さん**



## 児童相談所のイメージ

児童相談所と聞くと、どのようなイメージをもっていますか？「児童相談所＝虐待」「虐待をする親はひどい」という印象が強いのではないかと思います。11月は児童虐待防止推進月間でもあり、藤沢市亀井野にある中央児童相談所にお話を伺ってきました。虐待対策支援課の髙橋かすみさん、安島大輝さんは、さまざまな相談と向き合い、寄り添い、保護者の方などと一緒に子育ての中でできる工夫を考えています。児童相談所は、子育ての良し悪しを評価する冷たい空間ではなく、一緒に子育てのこれからを考えていく温かい場所です。「どなたも一人で悩まずに相談してほしい」、児童相談所は18歳未満 のあらゆる相談を受けています。

## 「虐待」をしてしまうのは、どんな人？

「児童虐待」と聞くと、ある特殊な環境の中、特殊な家庭の中で起こっていることという印象があるのではないでしょうか。実はそうではなく、どの家庭にも起こりうるものです。インタビューの中で、「虐待をしてしまう人と、虐待をしない人に差はあるのか」と伺いました。そこには、「差」はないのだそうです。人の考えの差や性格の差で、虐待が起きているのではなく、さまざまな要因が複雑に絡み合って起きているもの。我が家には「虐待」は縁がない…そういった考えが、保護者の孤立を招いたり、子育てのことを相談できない・悩んではいけないという環境をつくってしまったりするのではないかと、取材を通して感じました。

## 「体罰」はエスカレートする

令和2年4月に、体罰禁止が法定化されました。昔は、叩くようなしつけも、「子どものためなら許される」とか、「軽いものなら許される」「1回だけなら許される」などありましたが、今は1回であろうと、軽いものであろうと、どのような行為であっても「体罰は体罰」となり、許されないものになりました。怒鳴るなど、子どもの心を傷つける行為も許されなくなっています。「悪いことは悪いと、叩いてでも教えなくては…」と、叩いてしまうと、子どもたちは叩かれることでビック リして行動をとめることがあります。すると、保護者の方は「やっぱり叩くって効果がある」と思ってしまう現象があります。習慣性も出てくるので軽く叩くでは効果がなくなり、だんだんと殴るに変わるなど、体罰がエスカレートする過程で、虐待に転じてしまうことがあるのです。「体罰はいけない」と言われて、その日からピタとやめられるようなものではありません。いろいろと代替案を紹介し、保護者の方と一緒に「叩かずにどうするか」を考えていくこと。「ダメと言われて、やめられるなら苦労しない」その保護者の気持ちこそ、大事にしていかないといけないと、児童相談所のお二人はおっしゃっていました。

## 地域で暮らす一人ひとりが考えていきたいこと

体罰や虐待は許されるものではありません。そう思うがゆえ、どこか「虐待をするなんて信じられない」「親としてどうなの」と、体罰や虐待をする家庭は、自分とは違うものと切り離してしまう習慣があるように思います。正しく注意をすることや別世界のものと否定することが、その親子を救う方法なのでしょうか？児童相談所の関わりや想いを、子育て世代だけでなく、すべての方に知っていただきたいです。否定や排除ではなく、体罰や虐待という行為を含めて、本質的な受け止めが社会の中に必要なのではないかと感じるのです。

interview

▶詳しくは、サイト内の記事へ。

「虐待」を特別視しないで（中央児童相談所 髙橋かすみさん・安島大輝さん）

3つの柱で取組む「体罰未然防止事業」（中央児童相談所　虐待対策支援課）

# WEBサイトが新しくなりました！

今回のリニューアルのポイントは「誰にとっても、見やすく、読みやすく、検索しやすいサイト」。
記事の更新頻度もUP！サイト名は「障がいのアナ」から「Ana Letter」に変わっています。

## point 01 見やすさ・読みやすさ

新着記事が一覧表示になりました。
「+VIEW MORE」でさらに表示されます。

**メディア・ユニバーサルデザイン（MUD）**
を導入し、フォントや色合いを
UD仕様に変更しました。

## point 02 検索のしやすさ

「KEY WORDS」ボタンを設置し、
関連記事を検索しやすくしました。

## point 03 記事の拡充

リニューアル後は記事の更新頻度を
上げ、より充実したサイトを目指します。

▶詳しくはサイト内の記事へ。
新しくなった「Ana Letter」
のすべて

## アンケートにご協力をお願いします！

3つのポイントについて、皆さんのご意見を聞かせてください！
アンケートのご回答は、記事内のリンクからお願いします。
（※回答期限：12月28日）

▶詳しくはサイト内の記事へ。
12月28日まで、アンケート実施中！

## 取材させてください！ 取材先大募集！！

皆さんの想いを大切に、丁寧に取材させていただきます。記事を通して、その想いを多くの方の心へ柔らかく届けます。
ご連絡をお待ちしています！

Ana Letter サイト内の
「お問い合わせ / 取材依頼」より
ご連絡ください
↓
インタビュー内容をメールで送付します
↓
詳細をお伺いします（対面 or オンライン）
↓
記事を作成し完成後、ご連絡します

オンラインでの
取材も可能です

### 公式LINEアカウント

最新情報をいち早くお届け♬
ぜひご登録ください♪

@shogai_ana

## 障がいのアナのサポーター になりませんか？

### 活動を支えるご支援・ご寄付をお願いします

障がいのアナは、現在、運営するウェブメディア「Ana Letter」を軸に、藤沢市内を中心に「障がい」や「福祉」の情報を発信しています。
今後は、体験や交流できるイベントの実施など、アナをあける様々な催しを計画しています。
すべての人が自分の生きる価値を感じられる、柔らかい社会を目指して一障がいのアナが、皆さんと一緒につくる新しいカタチを応援してください。

**サポーター4つの特典**
①サポーター登録証の発行
②サポーター限定イベントへの参加
③オンラインイベント等への特別価格での参加
④紙面で発行されるニュースレターの送付

サポーター登録はこちらから♫▶


NewsLetter

障がいのアナニュースレター Vol.8
2021年12月 発行

発行：市民活動団体 障がいのアナ
mail：info@shogai-ana.com

障がいのアナ
https://shogai-ana.com

Facebook @shogai.ana
Instagram @shogai_ana
LINE @shogai_ana